

U09a 陽子はどのようにになっているか。電子はどのようにになっているか。その事を検証するため「高エネルギー加速器で、陽子と陽子を衝突させたときどのようにになるか」を用いる。この原理を用い発電機を作る。

小堀しづ

陽子の中の陽子のラブはビッグバンの時放出したものであり、陽子の本体です。地表の陽子のラブは、次のようです。陽子のラブのエネルギーは $1.503 \times 10^{-10} \text{J}$ 。質量は $1.670 \times 10^{-27} \text{Kg}$ 。大きさは $8.204 \times 10^{-32} \text{m}$ 。体積は $2.890 \times 10^{-94} \text{m}^3$ 。比重は 5.779×1063 。陽子のラブは自転し磁気的光子を作り、公転し、電気的光子を作る。陽子のラブは自分のエネルギーと存在する場のエネルギーとの均衡を保つために作った電磁気を着る。自分の引力で、作った電磁気を自分の周囲に回転させておく。それであるから、陽子の中には、陽子のラブと電磁気が存在する。陽子のラブは陽子のラブの軌道を回転する。電磁気は陽子の中の電磁気の軌道を回転する。そのことを検証するために「高エネルギー加速器で、陽子と陽子を衝突させたとき、どのようにになるか」を用いる。陽子と陽子を衝突させたとき、低エネルギーの電磁気は放出する。この中には3種類のクオークもある。しかし、高エネルギーの電磁気は陽子のラブから離れない。(陽子のラブ+ $1.486 \times 10^{-10} \text{J}$ の電磁気の束)として残る。この(陽子のラブ+ $1.486 \times 10^{-10} \text{J}$ の電磁気の束)は再び(陽子のラブ+ $1.503 \times 10^{-10} \text{J}$ の電磁気の束)と成り、陽子になる。この原理を利用し、発電機を作る。発電機については、特願 2020-081612 に記す。